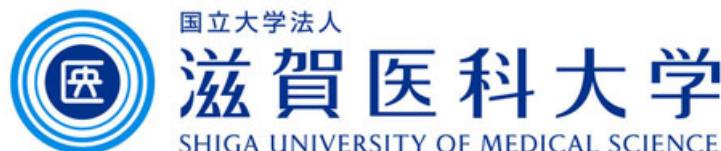


# 滋賀医科大学 産婦人科専門研修プログラム 2021年版 (2020年7月改訂)

プログラム統括責任者  
産科学婦人科学講座  
教授 村上 節



# 目次

1. 専門研修プログラムの理念・目的・到達目標
2. 専門知識/技能の習得計画
3. リサーチマインドの養成および学術活動に関する研修計画
4. コアコンピテンシーの研修計画
5. 地域医療に関する研修計画
6. 専攻医研修ローテーション(モデル)と年度毎の研修計画
7. 専攻医の評価時期と方法(知識、技能、態度に及ぶもの)
8. 専門研修管理委員会の運営計画
9. 専門研修指導医の研修計画
10. 専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）
11. 専門研修プログラムの改善方法
12. 専攻医の採用と登録

# 1. プログラムの理念・目的・到達目標

- **理念** 全人的医療を担う産婦人科のプロフェッショナルを育てます。
- **目的** 女性の一生のサポーターである産婦人科医としての、必要かつ十分な知識・技能を修得することを目的としています。
- **主な到達目標**

## 1. 生殖・内分泌領域

- ✓ 思春期～生殖年齢女性の月経異常や内分泌異常のマネージメント
- ✓ 妊娠成立に向けての生殖医療の提供

## 2. 周産期領域

- ✓ 妊娠の診断から妊婦、分娩を経て産褥復古までの管理指導
- ✓ 新生児の取り扱い

## 3. 婦人科腫瘍領域

- ✓ 子宮、卵巣などの婦人科がんの診断と治療
- ✓ 適切な、疾病の予防や緩和医療の提供

## 4. 女性のヘルスケア領域

- ✓ 更年期障害、骨粗鬆症や骨盤臓器脱など中高年女性のQOL向上
- ✓ 女性アスリートの健康管理

## 2. 専門知識/技能の習得計画

- 本プログラムは、日本専門医機構が定める専攻医が習得すべき専門知識/技能の修了要件(整備基準項目53)を満たすように計画されています。
- 基幹施設研修
  - 滋賀医科大学医学部附属病院では、病棟の担当医として経験を積みます。
  - 滋賀医科大学医学部附属病院は、総合周産期母子医療センターのほか、日本婦人科腫瘍学会・日本生殖医学会・日本女性医学学会・日本産科婦人科内視鏡学会・日本東洋医学会などの認定研修施設でもあり、県の内外から多くの症例が集まり、カンファレンスでのディスカッションや症例の振り返りなどを通じて、知識と技能を高めます。
- 連携施設研修
  - 連携施設では、指導医のもと、外来初診から入退院を経て終診まで、一人の患者さんの診療のすべてに関わることになります。
  - 責任とやりがいを感じる密度の濃い環境の中で研鑽できます。
- 産婦人科研修管理システム
  - 日本産科婦人科学会が提供する産婦人科研修管理システムに個人の研修の進捗状況を登録することで、きめの細かい研修を保証します。

### 3. リサーチマインドの養成および学術活動に関する研修計画

- カンファレンスの中で研究発表を行っています。
  - 先輩の研究発表を聴くことで、あなたのリサーチマインドに火をつけてください。
- 滋賀県産科婦人科医会、近畿産婦人科学会での発表を経験します。
  - 専門医の受験資格には学会発表が必須です。
  - 基幹施設である滋賀医科大学医学部附属病院に在籍中に発表を経験してください。最初の抄録執筆は、統括責任者が指導します。
  - カンファレンスで発表の予演を行い、本番前のブラッシュアップを行います。
  - 日本産科婦人科学会などの全国学会への参加も奨励しています。
- 論文執筆の指導は万全です。
  - 専門医の受験資格には論文発表が必須です。
  - 基幹施設である滋賀医科大学医学部附属病院に在籍中に論文を執筆してください。最初の論文執筆の指導は、統括責任者が行います。
  - 将来のためできれば英文での投稿を目指しましょう。

## 4. コアコンピテンシーの研修計画

- 日本専門医機構の策定した整備基準には、医師として必要な基本的診療能力(コアコンピテンシー)を習得するため、医療倫理、医療安全、感染対策の講習会を各1単位(60分)ずつ受講することが求められています。(整備基準項目53)
- 滋賀医科大学医学部附属病院では、日本専門医機構が認定する医療倫理、医療安全、感染対策の講習会を毎年開催しています。
  - 連携施設で研修中のメンバーも受講できるので安心です。

## 5. 地域医療に関する研修計画

- 産婦人科専門医制度では、地域の産婦人科医療を守ることが念頭に置かれています。
- 滋賀県内のほとんどすべての病院は、地域医療の研修施設として認定されますので、本プログラムでは自然に地域医療研修を修了できます。

# 6. 専攻医研修ローテーション(モデル)と年度毎の研修計画

## ➤ 研修ローテーション(モデル)

- 専門研修の1年目は、原則として多様な症例を経験できる滋賀医科大学医学部附属病院で研修を行い、2年目以後に備えます。
- 2年目、3年目は状況に応じて連携施設を中心に研修を行います。

## ➤ 年度毎の標準的な研修計画

- ✓ 1年目：内診、直腸診や経腔・腹部超音波検査、胎児心拍モニタリングなどにより基本的な所見をとることができる。上級医の指導のもとで正常分娩取り扱い、通常の帝王切開、子宮内容除去術のほか、腹腔鏡下手術を含めて、子宮付属器摘出術、子宮摘出術を執刀する。
- ✓ 2年目：婦人科の病理および画像を評価できる。正常および異常な妊娠・分娩経過を判別できる。正常分娩を一人で取り扱える。生殖医療の補助ができる。悪性手術の手技を理解して助手ができる。
- ✓ 3年目：妊婦健診および婦人科の一般外来診療に従事する。患者・家族からのICが取得できる。問題のある症例については上級医に確実に相談できる。上級医の指導のもとで、癒着があるなどやや困難な場合でも、帝王切開や腹腔鏡下手術を執刀できる。

# 7. 専攻医の評価時期と方法(知識・技能・態度に及ぶもの)

## ➤ 到達度評価

- ・ 産婦人科研修管理システム上で、研修目標の達成度および態度および技能について、少なくとも12か月に1度、あるいは施設を移動する際にも自己評価を行ってください。その後指導医による評価がなされます。態度については、看護師長などの他職種による評価を含みます。
- ・ これらの評価内容は、あなたの研修の進め方を決める重要な資料となります。

## ➤ 総括的評価

- ・ 専門医認定申請年の3月末時点での研修記録および評価に基づき、研修修了の要件を満たしているかどうかを判定します。手術・手技についての技能は、各施設の産婦人科の指導責任者が確認します。他職種評価として看護師長などの医師以外のメディカルスタッフ1名以上からも評価を受けるようにします。

## ➤ 認定申請から受験申請

- ・ 専門医認定申請年の4月末までに本プログラム管理委員会に修了認定の申請を行ってください。
- ・ 研修プログラム管理委員会は5月末までに修了判定を行い、研修証明書を送付しますので、その後に日本専門医機構に専門医認定試験受験申請を行ってください。

## 8. 専門研修管理委員会の運営計画

▶ 本プログラム管理委員会は、基幹施設に所属する統括責任者と副統括責任者の2名と各連携施設担当者1名ずつの計12名で構成されています。プログラム管理委員会は、毎年12月に会議を開催し適宜通信会議も併用して、専攻医の研修管理と研修プログラムの見直しを行います。

主な議題は以下の通りです。

- ・ 各専攻医の到達度評価・総括的評価のチェック
- ・ 各専攻医の専門研修の進め方と修了判定
- ・ 本プログラム応募者の採否決定
- ・ 本プログラムに対する各種評価の検討
- ・ 連携施設の前年度診療実績等の検討
- ・ 新専攻医受け入れ数の決定
- ・ プログラム内容の改変

## 9. 専門研修指導医の研修計画

- 指導医は整備基準に定められている基準を満たしています。
- 指導医の更新には、日本産科婦人科学会が主催する、あるいは日本産科婦人科学会の承認のもとで連合産科婦人科学会などが主催する産婦人科指導医講習会の受講が必須であり、産婦人科医師教育のあり方について研鑽を続けています。
- 指導医のほとんどが、厚生労働省が推進する「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講し、医師臨床研修指導医の認定を受けています。

# 10. 専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

- 基本的に労働条件は、勤務する各施設の労使協定に従うことになります
  - 疑問があれば統括責任者に連絡してください。
  - 少なくとも1年に1度は統括責任者による意見聴取の機会を設けています。
- 基幹施設である滋賀医科大学医学部附属病院では、ワークライフバランスを考慮した勤務体制の構築に努めています。
  - カンファレンスなどの業務ミーティングは毎月曜日の8時30分から開始し、可能な限り勤務時間内に終了するように調整しています。
  - 宿直明けの休み体制を採用しています。
  - 連續9日間のリフレッシュ休暇を取得できます。
  - 夜間保育、病児保育を含む保育園を利用できます。

# 11. 専門研修プログラムの改善方法

- 本プログラムに関するご意見は隨時受け付けていますので、統括責任者にお知らせください。
- 総括的評価時に、指導医、施設、研修プログラムに関しても評価してください。あなたの意見が明日のプログラムに反映されます。
  - その他、指導医による評価および日本専門医機構の規程に基づくサイトビジットによる評価も本プログラムの内容改善に役立てます。
- 日本産科婦人科学会中央専門医委員会へ直接連絡することもできます。  
電話番号：03-5524-6900  
e-mailアドレス：[nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)  
住所：〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目6-18 東京建物京橋ビル4階

# 12. 専攻医の採用と登録

- 募集人員は10名です。
  - ✓ ただし+αの余裕があります
- 申し込みは日本専門医機構のシステムにより行います。
  - ✓ まず日本産科婦人科学会のホームページ(<http://www.jsog.or.jp>)から登録開始のIDを入手して下さい。
- 滋賀医科大学医学部附属病院の参考および問い合わせ先
  - ✓ 滋賀医科大学医学部附属病院 医師臨床教育センター  
住所:〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
TEL : 077-548-2436  
FAX : 077-548-2832  
E-mail : [kensyu@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:kensyu@belle.shiga-med.ac.jp)  
HP: <http://www.shiga-med.ac.jp/~kensyu/>
  - ✓ 滋賀医科大学産科学婦人科学講座のホームページ(<http://www.sumsog.jp/trainee/>)にも情報を掲載しています。
  - ✓ 紹介映像(<https://www.youtube.com/watch?v=7ICVTf9Ltx0&feature=youtu.be>)もご覧下さい。
- 研修開始届け
  - ✓ 研修を開始したら5月末日までに産婦人科研修管理システムにWeb登録してください。